

不連続ブログ小説 「頑張れ花子！」

第三話

止まらぬケイコの話にややウンザリの花子・・・
幾度かこの会話を終息に持ち込もうと試みましたが、

しかし、一度、話し始めたケイコの勢いを止めることは並大抵のことではありません。

「花子さん！ ちゃんと話聞いているの？」
ウンザリしている花子の様子を察したケイコが鋭く突っ込んできました。

「も、もっ、もちろん聞いてますわ・・・。」
ケイコの突っ込みに明らかに動揺した花子でしたが、

「おかあさくん！ ミサト、おなかへったあ・・・。」
これ以上ないというタイミング。ミサトからの助け船に救われました。

「あつらー、ミサトちゃん、お腹が空いたのね。」
おばあちゃんが何か作りましょうネ♪」

ミサトの一言が、ケイコの親バカならぬ祖母バカっぷりを見事に引き出しました。
文末に「♪」がつくほどの上機嫌。

いつも下がり気味の目尻が一層下がっています。

「あ、お母様、私が・・・。」
花子が話し始めたのを遮るように、



「フリーズ!!」

ケイコの叫び声が響き渡ります。
なぜかケイコは英語をちよいちよい使ってきます。

「花子さん、あなたはタダシとミサトの為に一生懸命に手洗いをして手が荒れてしまっ
たんでしょう。こんな時ぐらい私が食事の支度をするから、花子さんは休んでいてちま
うだい。」

花子はケイコの優しさに素直に甘えることにしました。

「手荒れが酷くなってしまった時には水に触れないのが一番だから、私みたいに心優
しい姑がいる家庭は、甘えてみるのも一つの方法よ。」

「・・・」

自らを心優しい姑と「言っちゃってるところについては・・・」
見事！花子は華麗くにスルーしました。

ケイコのワンポイント英会話

FREEZE ! (フリーズ)

人に対して動くなという意味。
強盗などが使う。ここでのケイコの
使い方が適切かどうかは微妙。
綴りがよく似たお菓子里「PRETZ」
がある。

「手荒れが酷いからといって、食事の支度をしないわけにはいかないのが子供をもつ親のつらいところよね。」と、話を続けながらも、ケイコは手際よく食事の支度をしています。

「栄養面の問題や各家庭での『食』に対する方針もあるから一概には勧められないけど。メニューに・・・そうねえ・・・冷凍食品とか？手が水に触れる調理の手間を少しでも省けるものを上手に取り入れるのもいいかもしれないわ。」

普段から冷凍食品を多用している花子には、少々、耳の痛い話です。

「洗いもの時とかに使い捨ての手袋を使ってみるのも手荒れが酷い時には有効だし、予防にも役立つわよ。」

ケイコは食事の支度をしつつ、口も動かさずじまっています。

「ミサトちゃん、ゴハンが出来たわよ！ さあ、食事の前には手を洗いましょうネ♪」

ケイコは、タダシとミサトを洗面所へと連れて行きました。

洗面所からは「あわあわ手洗いのうた」を歌いながら手を洗う三人の声が聞こえてきます。

そんな三人の声を聞き、花子の顔には自然と笑みが浮かびます。

「いっただっきまーす！」

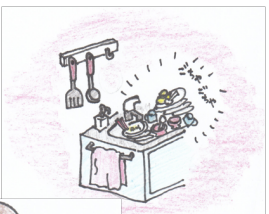
ケイコが支度してくれた食事をみな夢中で頬張ります。

「それじゃあ花子さん、また何かあったら遠慮なく言ってちょうだいね。」

ケイコは、タダシとミサトが美味しそうに食事を食べるのを見届けると、2階の自分の居室へと戻って行きました。

「お母様・・・。」

ケイコの優しさに感動する花子。しかし、その背後のシンクには山のような洗いものが・・・。



頑張れ花子！ 負けるな花子！

つづく・・・